

医学系研究に関する情報の公開について

研究機関名*	独立行政法人労働者健康福祉機構 大阪労災病院
研究課題名*	Self-reference mapping technique の有用性の検討
所属科*	循環器内科
研究責任者*	松永泰治 西野雅巳
研究実施期間	開始 西暦 2017 年 1月 1日 ~ 終了 西暦 2020 年 3月 31日 (予定)
対象疾患 (予定症例数)	参加施設にて AF ablation を施行した成人症例全例 年齢制限: 18 歳以上 (200-300 症例)
研究対象となる治療・手術・検査の時期	開始 西暦 2017 年 1月 1日 ~ 終了 西暦 2020 年 3月 31日
研究概要*	心房細動治療において非肺静脈起源のトリガーを焼灼することは有用であるが、確立した方法はない。松永が JCHO 星ヶ丘医療センターで始め 2017 年から行っている Self-reference mapping technique (Heart Rhythm Casereports, 2018) は、通常診療における工夫であるが、これらの症例の長期データを前向きに集める。(非介入、観察)
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について*	連結可能匿名化を行う。対応表はそれぞれの部署 (施設・研究室) で厳重に保管する。本研究で得られたデータを当院外へ提供する際には対応表は提供せず、連結可能匿名化されたデータのみを提供する。学会や論文等で研究成果を発表する場合も、個人を特定できる情報を明らかにすることは決して行わない。
研究の問い合わせ先*	大阪労災病院 循環器内科 松永泰治

* 記入必須項目